

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年7月14日（月）

2 確認箇所

- ・多核種処理水希釈放出設備測定・確認用設備（K4タンクエリア）及び移送設備（多核種移送設備建屋）（図1）
- ・多核種除去設備等処理水希釈放出設備の測定・確認用設備（図1）

3 確認項目

- （1）多核種除去設備等処理水の放出状況（第13回）
- （2）多核種除去設備等処理水希釈放出設備の測定・確認用設備における循環・攪拌運転の状況

4 確認結果の概要

（1）多核種除去設備等処理水の放出状況（第13回）

本日（7月14日）、本年度2回目（累計13回目）となる多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）の放出が開始されたため、その状況を確認した。【前回確認日：[令和7年4月10日](#)（第12回放出）】

- ・第13回ALPS処理水放出計画は次のとおり。

放出対象：ALPS処理水（測定・確認用サンプルタンクC群）
予定放出量：約7,800 m ³
予定期間：令和7年7月14日（月）～同年8月1日（金）

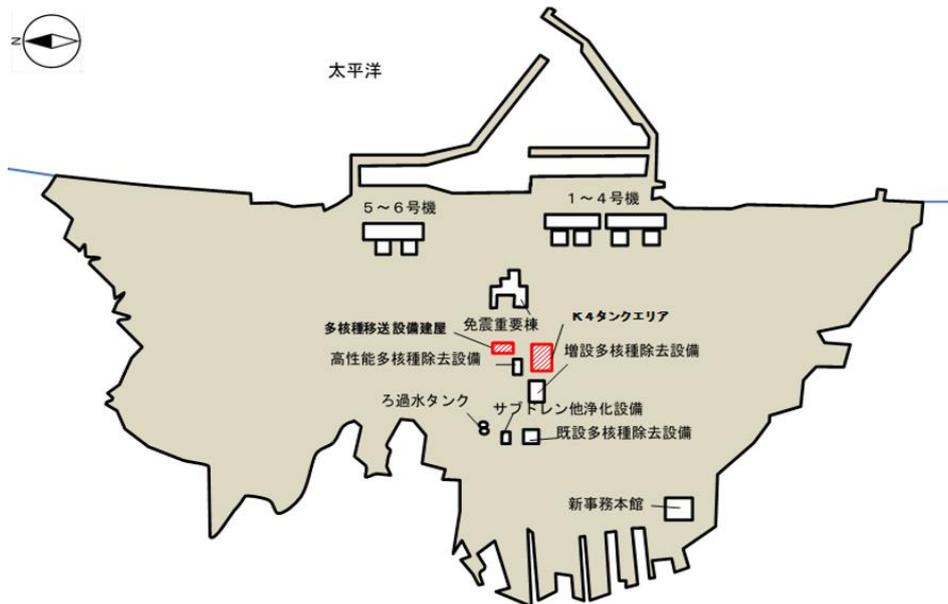
- ・東京電力社員が手順書に従い呼称・指差し確認をしながらC群タンク及び多核種移送設備建屋等にて弁操作を行っていた。（写真1）
- ・現場での操作が全て終了した後、作業記録をスマートフォンで画像を共有し、中央操作室の職員によるクロスチェックが行われた後、移送ポンプ（A）が起動された。（写真2）
- ・放出開始後、東京電力社員によるK4タンクエリア堰内及び放出流路の確認が行われた。

（2）多核種除去設備等処理水希釈放出設備の測定・確認用設備における循環・攪拌運転の状況

本年度4回目となるALPS処理水の放出に向け、7月10日から循環攪拌が実施されており、7月17日に希釈前のALPS処理水の放射性核種濃度や水質を測定するための試料採取が予定されている。

これに先立ち、K4タンクエリアB群（全10基）では、処理水の均質化を目的とした循環・攪拌運転が実施されておりその状況を確認した。

- ・ALPS処理水の循環・攪拌に使用するポンプ2台が稼働しており、ともに異常な振動、異音、漏えい等の異常は確認されなかった。
- ・弁・配管からの漏えい等の異常は確認されなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) 呼称・指差し確認の状況



(写真1②) 連結弁の全開作業



(写真1③)屋外受入バルブユニットでの弁操作



(写真1④) 多核種移送設備建屋での弁操作



(写真2①)中央操作室での職員による
クロスチェック



(写真2②) ポンプの稼働状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。